

報道各位

エコプラザ改修工事見直し陳情（3月23日）の結果のご報告

2007年3月26日

川崎市麻生区はるひ野町内会

エコプラザ対策部会

代表 山田 康貴

平成19年3月23日多摩市に、安全が確立されていないプラスチック圧縮施設を、リサイクルとひかれてしまったレールのうえに強引に走らせると、アスベストのような問題となる危険性があるという主旨で、掲題の件、陳情に上がりました。結果、主旨説明、は以下の通りです。結果は、採択されなかったものの、補正予算が可決された本案件が審議未了になったということで、事実上3月末の工事が延期となり、2月の説明会で約束した住民の質問に応えるべく説明会が始まるものと考えております。なお、採択を投じていただきました良心ある多摩市議会議員の方におかれまして、ここに厚く、厚く御礼申し上げます。

結果 審議未了

内訳	採択	富所氏（議員改革連盟）
	主旨採択	橋本氏（共産党）
	継続	小林氏（公明党）
	不採択	朝倉氏（自民党）・篠塚氏（民主党）

陳情書：主旨説明

著名な学者たちの学説、研究から、この施設の危険性が唱えられており、プラスチックを圧縮すると様々な化学物質が発生することが立証されています。発生する化学物質は、その存在や危険性が明らかになっている物質だけでなく、未知の化学物質もあります。杉並区では、この施設が原因で、重度の化学物質過敏症や、中枢神経障害となった人たちが苦しんでいます。また、最近建設された新しい相模原市の施設でも、様々な化学物質が排出されており、活性炭フィルターで除去できないものが含まれ、その中で基準排出量を越えているものもあり、エコプラザ多摩の大気調査では、ほとんどの物質が多摩部の平均を上回る数値を示しており、処理されるプラスチックの種類や量が増加することによってますます大気環境が悪化することが懸念されます。先に送付させていただいた「廃プラスチック中間処理施設の安全性について」緑の冊子をお読みいただけたでしょうか。この施設は危険なものなのです。目に見えない化学物質、有害ガスを除去するのに、地下作業、エアーカーテン、活性炭フィルターだけで安全が確保されたと本当に思っているのでしょうか。また、この施設による健康被害がないと主張されますがそれは明らかに間違いで、被害がないのではなく、立証することが非常に難しいのです。これをいいことに、行政、司法はこの危険な施設をリサイクルという大義名分をかざしてつくってしまっているのです。ちゃんとデータと向き合ってください。私たちの主張は間違っていないです。どうして、日本の行政、司法は、これだけ危険性が指摘され明確になっているものに対して、安全性の因果関係はあいまい

でよく、健康被害との因果関係は死者がでないと認めてくれないのでしょうか。この矛盾に憤りを感じております。

アスベスト、薬害エイズ、耐震偽装問題、、記憶にありますか。全て行政、司法が安全と一旦は認めたものです。しかし、とんでもない問題を引き起こしていませんか。被害者は、自分で被害を立証し、一生苦しんでいます。この想像もつかない苦しみを今度はわが子、子供たちが背負うと思うと夜も眠れません。本当に夜目を覚まして、わが子が大丈夫か、みてしまう日があります。行政、立法はどうしてまた同じ過ちを私たちに下すのでしょうか。明らかに行政、司法は過去に過ちを犯し、反省、改善なく今日に至ってしまったのです。もう今は、ここにお集まりの議員さん市長さん、の良心でしか子供たちを救えないのです。お願いします。**安全性が確認できていないプラスチック圧縮施設をつくらない**てください。安全を、健康を、子供たちのことをもっと真剣に考えてください。今一度、お子様のお顔、子供たちの笑顔を思い浮かべてから、採決をください。お願いします。